

西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第4期） 令和2年度の取組結果の概要

1 西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第4期）の概要

- (1) 計画期間
平成29年度から令和3年度（5年間）
- (2) 温室効果ガス総排出量削減目標
令和3年度までに基準年度（平成27年度）から10.0%削減
- (3) 重点取組
 - ア 効率的な施設の運営
 - イ 省エネルギーな設備の導入
 - ウ 庁舎・市民交流施設の省エネルギー化
 - エ ごみの減量化、資源化の向上

2 エネルギー使用状況、温室効果ガス排出状況

エネルギー使用状況

項目	単位	平成27年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		基準年度	実績	実績	実績	平成27年度比
ガソリン	kL	34.0	30.5	28.9	22.1	△34.9%
灯油	kL	106.6	107.5	95.7	110.8	4.0%
軽油	kL	11.3	11.2	10.9	7.2	△36.3%
A重油	kL	18.2	30.6	14.8	9.6	△47.1%
L P G	t	6.0	6.5	7.4	5.1	△13.7%
都市ガス	千m ³	838.7	880.7	1,037.6	871.3	3.9%
電気	千kWh	17,060.6	15,995.1	14,942.1	15,145.5	△11.2%
公用車走行量	千km	471.9	461.5	437.7	327.6	△30.6%
カーエアコン	台	80.0	79.0	80.0	83.0	3.8%
笑気ガス	kg	34.0	3.0	2.0	2.0	△94.1%

温室効果ガス排出状況（単位：t-CO₂）

項目	平成27年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	基準年度	実績	実績	実績	平成27年度比
ガソリン	78.9	70.8	67.0	51.4	△34.9%
灯油	265.4	267.8	238.3	275.9	4.0%
軽油	29.1	28.8	28.1	18.5	△36.3%
A重油	49.2	82.8	40.2	26.0	△47.1%
L P G	17.9	19.4	22.3	15.4	△13.7%
都市ガス	1,870.3	1,964.0	2,313.7	1,943.0	3.9%
電気	8,831.1	8,247.8	7,693.3	7,815.2	△11.5%
公用車走行量	3.54	3.36	3.16	2.32	△34.6%
カーエアコン	1.14	1.13	1.14	1.19	3.8%
笑気ガス	10.1	0.89	0.60	0.60	△94.1%
合計	11,156.7	10,686.8	10,407.8	10,149.5	△9.0%

- ※ 取組効果を正当に評価するため、基準年度の排出係数を固定して CO2排出量の算定を行っています。
- ※ 最新の排出係数による温室効果ガス排出量： 7,634.1 t-CO2（基準年度比31.6%減）
- ※ 数値は四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

【結果】

- (1) 令和2年度温室効果ガス排出量は、平成27年度と比較し 9.0%減少しました。
- (2) 温室効果ガス排出量の増減の主な理由は、次のとおりです。

【温室効果ガス排出量の増減の主な理由】

主な理由（増加）	主な理由（減少）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、訪問、イベント等の自粛及び中止に伴い、減少 ・軽油：バス稼働率の減による減少 ・A重油：西脇病院にて令和元年度は停電点検（1回／3年）のため非常用発電機を運転した。令和2年度は停電点検がなかったため、減少（2,000L → 300L）

3 主な取組

- (1) 重点取組
 - ア 効率的な施設の運営
 - 中畑浄化センターの廃止
 - イ 省エネルギーな設備の導入
 - 省エネPCに更新（65台）
 - 黒田庄浄化センター長寿命化（その7）工事（機器更新）
 - ウ 庁舎・市民交流施設の省エネルギー化
 - 新庁舎・市民交流施設の省エネルギー化の検討
 - エ ごみの減量化、資源化の向上
 - ゴミステーションチェック
- (2) その他の取組
 - ア 節電対策の徹底
 - (ア) 公共施設における不使用場所の消灯（昼休み時、トイレ等）
 - (イ) 廊下及び窓際照明の間引き・消灯
 - (ウ) 空調機器の適正な温度管理
 - a 稼働時間の短縮
 - (エ) 定時退庁の推進（水曜日）
 - (カ) パソコン、コピー機器等の節電モードの設定 ほか
 - イ 職員全員が環境行動評価シートで自身の環境行動をチェック
 - ウ 各課・施設における活動量（温室効果ガス総排出量）の取りまとめ